

四国中央市次期可燃ごみ処理施設の再編方針について（案）

1. 答申

当委員会としては、四国中央市次期可燃ごみ処理施設の再編方針については、「四国中央市単独整備によるトンネルコンポスト方式の採用」が、四国中央市に最も適していると提案する。

ただし、一定の条件を附する。

2. 採用理由

- ①リサイクル率の向上や温室効果ガスの排出抑制に繋がる環境に配慮した処理方法である。
- ②事業費では、比較した処理方式のなかでは比較的安価である。
- ③単独処理は方式選定に伴う分別の変更が無く、市民へ新たな負担が生じることがない。
- ④生成物(固形燃料)が市内製紙業界で燃料として消費することができる見込みがあり地域特性に合致している。
- ⑤施設の稼働は機器点数が少ないためトラブルも少なく安定したごみ処理が期待できる。

3. 懸念事項

- ①生成物（固形燃料）の安定した受入先の確保が必要である。
- ②災害廃棄物の処理方策と受入先を事前に確保しておく必要がある。
- ③廃棄物処理施設であるため、念入りな臭気対策が必要である。

4. 要望事項

- ①生成物（固形燃料）の安定的な受入先を確保するため受入先から確約を取り付けること。
- ②災害廃棄物の処理において、発生見込量に対応できる処理方策と受入先を確保すること。
- ③臭気については、建設地周辺住民の不安を解消するため、定期的な臭気測定、結果公表をすること。また、基準値を超えた場合の対処方法を備え付けておくこと。